

再会喜び歓談の輪 校友会定時総会開く



02年度校友会(小林清会長)定時総会が6月22日、東京・千代田区の赤坂プリンスホテルで開催された。当日は山下徳夫理事長、出牛正芳学長、小林陵二石巻専修大学長、渡辺康一郎育友会長をはじめ、全国各地から、またアメリカから駆け付けた校友やその家族など400人を超える参加者が一堂に会して歓談、旧交を温めた。



河本雄三企画部副部長(昭45経済)が司会、始めにフェニックスグリークラブに唱和して全員で校歌を斉唱、物故した校友に黙とうを捧げた。続いて小林会長が「今年は箱根駅伝への出場、また野球部は1部への復帰を果たすなど、体育会の諸団体が活躍し、本当にうれしい。校友会も全国196支部が一体となって応援していきたい」と1年間を振り返って母校の健闘を祝した。



山下理事長は「04年度開学予定の法科大学院から、多くの人材を法曹界に送り出したい」と抱負を述べ、出牛学長は「社会知性の開発を核に、21世紀を担う人材育成に尽くしたい」とあいさつ、日ごろの校友会の協力に謝意を表した。小林石巻大学長も祝辞を述べた。

このあと、この1年間に叙勲・褒章を受けた小倉保己前石巻専修大学長、中尾良和氏(昭29法)に、またソルトレーク冬季五輪で活躍した白幡圭史(平8商)、糸川敏彦(平9商)、神津正昭(平9商)の3氏にそれぞれ記念品が贈呈された。

菊地勝雄総務部長(昭43法)が代議員会で承認された会務、事業方針など要旨を報告、承認された。渡辺育友会長の音頭で乾杯して懇親会に移ると、会場には久しぶりの再会を祝す歓談の輪が各所に見られた。

アトラクションでは、フェニックスグリークラブが、校歌や懐かしい名曲などを披露。ジェラシーのさわ(宇野沢正和さん=昭53経済) & おりーぶタカコさんが会場を回ってテーブルマジックで魅了。重田和秀くん(経営3)のピアノ、スウィングジャズ研究会の演奏で、伏見梓さん(商4)がスタンダードナンバーなどを熱唱した。このあと体育会優秀学生の紹介があり、最後は全学応援団とチアリーダーによる演技と応援歌に酔い、全員起立して校歌を斉唱。別れを惜しみながら閉会した。

[7月15日/ニュース専修11面]